

④ 日本国特許庁 (J P) ⑤ 実用新案出願公開
 ⑥ 公開実用新案公報 (U) 昭61-28751

⑦ Int. Cl. 1
 B 65 H 18/28
 16/00

識別記号 廷内整理番号
 6758-3F
 6758-3F

⑧ 公開 昭和61年(1986)2月20日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑨ 考案の名称 自動給紙用記録紙ロール

⑩ 実 願 昭59-113392
 ⑪ 出願 昭59(1984)7月27日

⑫ 著者 鎌田 健志 東京都大田区中馬込1丁目3番6号 株式会社リコー内
 ⑬ 出願人 株式会社リコー 東京都大田区中馬込1丁目3番6号
 ⑭ 代理人 弁理士 星野 恒司 外1名

⑮ 実用新案登録請求の範囲

- (1) ロール紙の取り出し先端部に、腰を強くするための手段を施してなることを特徴とする自動給紙用記録紙ロール。
- (2) 前記腰を強くするための手段は、ロール紙の取り出し先端部に樹脂をコートしてなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の自動給紙用記録紙ロール。
- (3) 前記腰を強くするための手段は、ロール紙の取り出し先端部にフィルムを接着してなることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の自動給紙用記録紙ロール。
- (4) 前記フィルムは、その幅がロール紙の幅より広く、ロール紙の幅方向両端よりそれぞれ突出する部分を有し、かつその突出した部分にフィード用の穴が設けられていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(3)項記載の自動給紙用記録紙ロール。
- (5) 記録紙ロールを包装する際に、前記ロール紙

両端より突出した部分をロールの芯側に折り曲げることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(4)項記載の自動給紙用記録紙ロール。

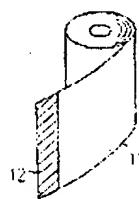
- (6) 前記フィルムは、二つ折りにされその中にロール紙先端部が挿入、接着されていることを特徴とする実用新案登録請求の範囲第(1)項記載の自動給紙用記録紙ロール。

図面の簡単な説明

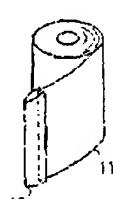
第1図は、本考案の一実施例の斜視図、第2図は、本考案の他の実施例の斜視図、第3図は、本考案の更に他の実施例の平面図、第4図は、第3図の実施例の包装時のフィルム折り曲げ部を示す図、第5図は、従来の一般的なロール紙の斜視図、第6図は、アクションリにおけるロール紙の搬送系を示す図、第7図は、従来のロール紙先端部の形状例を示す図、第8図は、従来例の問題点を示す図である。

11…ロール紙、12…樹脂、13、14…フィルム、15…フィード穴。

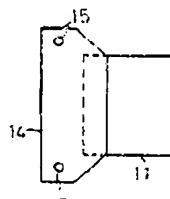
第1図



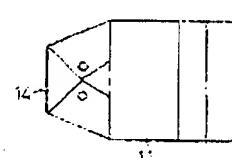
第2図



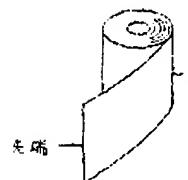
第3図



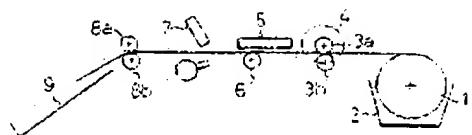
第4図



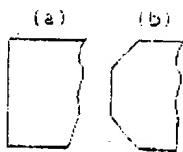
第5図



第6図



第7図



第8図

